

交 流 通 信

田原市の友好都市・長野県宮田村
中央アルプスの四季と
これからの見どころをご紹介します

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

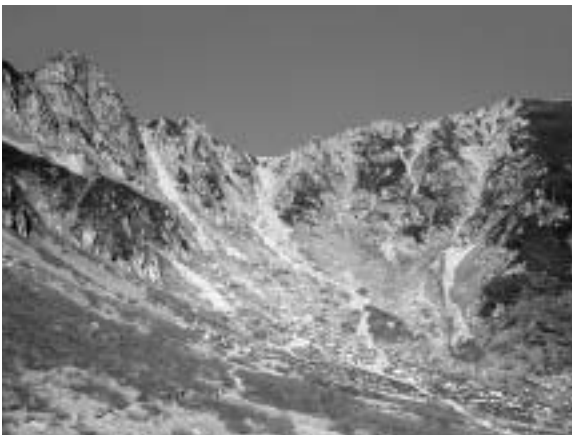
宮田村は伊那谷のほぼ中央に位置し、南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな村です。昔から、里の人びとは中央アルプス主峰・駒ヶ岳を眺め、岳に現れる雲の現象で天気を占ったり、春から夏にかけて残雪の消えていくのを見て、種まきの目安にしたりしたそうです。

壮観な山々の景色

駒ヶ根高原からバスに揺られること30分、しらび平に到着します。ここから1000mをロープウェイで一気に登ることができ、10分足らずで中央アルプスの玄関口、千畳敷に到着、雲上の世界を気軽に楽しむことができます。

標高2600m、雲よりも高い悠々とした岩山に降り立ったとき、緊張感と爽快感が体中を走ることでしよう。

天狗岩をはじめ、濃ヶ池、千畳敷カール、高山植物、聖職の碑、勒銘石などの見どころも数多くあり、晴れた日には立山連峰から北アルプス、南アルプス、そして遠くの富士山までもが一大パノラマとして展望できます。



【時期】10月

山頂から山麓へと美しい紅葉が降りてきます。紅に、黄金色にと染まってくついでに鮮やかな山肌。紅葉と緑のハイマツ、そして白い岩肌が見事なコントラストを描き出します。

これらかの季節の見どころ

夏は高山植物が咲き乱れる中を歩き、秋は紅葉のすばらしさに絶句。四季を通じて誰もが大自然を体感できる、これが中央アルプスの最大の魅力で、毎年観光客から登山者まで多くの人が駒ヶ岳を訪れます。

冬

純白の雪世界は、清らかな美しさに朝日に映える幻想的な樹氷の素晴らしさに魅せられてしまいます。

問い合わせ 宮田村観光協会
☎ (0265) 85局 5864



【上】千畳敷カール

標高2500m以上に位置し、氷河期の名残を残すカール地形。春は残雪でスキー、夏は高山植物、秋は紅葉、冬は白銀の世界と、四季折々の豊かな表情を見せてくれます。

【右】中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ

斜長 = 2333.5 m、高低差 = 950.0 m (日本最高) 標高 = 起点 1661.5 m ~ 終点 2611.5 m (日本最高) 運転速度 = 秒速7m、搬器 = 61人乗り2輛、運転所要時間 = 7分30秒